

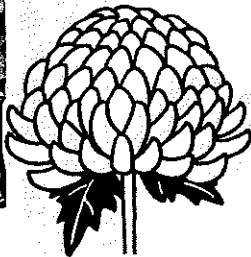
こぶしだより

1995年10月31日(火) 第185号
—発行—
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

健さん安らかに

けやき作業所の仲間の齊藤健さん(61才)が、10月17日昼12時45分、脳内出血のため入院先の芳賀日赤病院で亡くなりました。

健さんは、昭和55年5月にこぶし作業所に入所しました。長い在宅生活後の入所でありましたが、仲間たちと楽しく作業をすることができ、その頃はベアリング作業等を頑張っていました。いつも作業服のエリを立てイスに座るのを拒み立ったまま作業していました。62年にご両親が亡くなってからは弟さん夫婦が保護者となり、家庭内だけでなく作業所の様々な活動にも協力していただけてきました。



平成5年4月からは分場のけやき作業所へ通うようになり、昨年8月には還暦を迎えました。作業所で開かれた「還暦を祝う会」では、これから益々頑張るって働こうという意欲を見せていた健さんでありましたが、今年1月に脳梗塞のため倒れてしまいました。3週間ほどの入院とリハビリをし、やや左足に麻痺が残ったものの本人は作業所へ通う気力を全く失うことなく、また、弟さん夫婦にも健さんの

意志を尊重していただき、杖を持って作業所へ復帰することができました。それからは毎日ワッシャー作業に励み、相変わらずの頑固さと優しい笑顔を私たちに見せてくれました。左足の麻痺も徐々に治ってきたようにも思われませんでした。

しかし、9月24日早朝、脳内出血のため自宅で倒れ、そのまま入院。一時回復の兆しを見せたものの、10月10日から意識を失い、介護の甲斐虚しく、帰らぬ人となってしまいました。

21日の葬儀には、大勢のこぶし・けやき関係者が参列させていただきました。多くの仲間たちは健さんの死を埋解できずにいたようでしたが、柩が埋葬される様子を見て、ようやく健さんとお別れを感じることができたようでした。

もしかしたら夢の中の出来事だったのではないかと思うくらい、突然の悲しい別れでしたが、いつまでも健さんの笑顔を忘れずに健さんの分も頑張っていたこと、仲間たちと話しました。たいへん残念なことではありましたが、最後まで家族のもとから作業所へ通うことができたことを、健さん自身も幸せに感じていたことと思います。

健さん、楽しい思い出をありがとう。安らかに眠り下さい。

(塩入)

みんなで大地

95・10

健さんと初めて会ったのは5年前の全障研北海道大会の時。義妹さんと一緒だった。車とフェリーのなかななきつ旅だった。それでも健さんにとっては楽しいものだったのか、たまたま流れてきた音楽にのって踊りだしたことを覚えてる。義妹さんは健さんのこんな様子を見るのは初めてだとおっしゃっていた。うな気がある。にこにこ笑顔で満面にたたえていたのも印象的だった。以来なにが面白いのか、私の顔を見るとおかしそうに笑い出す。彼の笑顔は特別面白そう。大きな彫刻刀で深々と彫ったお面のよう。印象的といえば彼の体力である。秋田の泡返溪谷でハイカーの後を、あの猫背のちっさなおじちゃんがついてきた。つかず離れずつけていった。ハイカーは必至に逃げたが、

健さんがいないのに気づいた私たちも必至に一方通行の溪谷を追った。私たちの叫び声を聞いてようやくハイカーは事情を察したようで、健さんから20メートルくらい離れたところまで立ち止まっていた。恐ろしかったそうである。健さん60、家族旅行の時だった。

その健さんがこのころは杖をつき、余り笑わなくなっていた。芳賀町のボーリング大会で一緒に遊んだのが最後の元気な健さんだった。葬儀の時しみじみと健さんが生きてきた場所を見た。芳賀の歴史を背負っているような茅葺きの大きな屋根の下で私の年と同じ年月を健さんはどんな風に生き抜いていたのだろうか。そしてご両親は、家族は、その家族を説得し健さんを



11月のこよみ

- 1 (水) 家族旅行
- 2 (木) 家族旅行
- 3 (金) 休所日
- 4 (土) 指導会議
- 5 (日) 休所日
- 11 (土) 休所日 祭町民祭 芳賀
- 12 (日) 休所日 祭町民祭 芳賀
- 18 (土) 職員会議
- 19 (日) 休所日
- 23 (木) 休所日
- 25 (土) 休所日
- 26 (日) 休所日

※26日が日曜作業所から休所日に変更になりました。ご注意ください。

第18回

チャリティーバザ



去る10月15日(日)、秋晴れの空の下、毎年恒例となっているチャリティーバザが今年も二荒山神社境内で行なわれました。

これも偏に多くの方々の御好意・御協力の賜物です。毎年御協力いただいている方々団体に加え、新たに口コミやマスコミを通じてたくさんの方に品物の御提供、値付け等の準備や当日の販売などのボランティアをしていただきました。



18回目となった今回(あちらこちらでバザーやフリーマーケットなどが頻繁に行なわれていることも影響してかなか品物が集まらず、早々に終わってしまった前日の積み込みが皆様に不安を胸に抱きつつ、当日の朝を迎えました。

ところがそんな心配をよそに、会場はたくさんの方々にぎわい、各売り場とも大忙しとなり、次のような成果をあげることが出来ました。

総売上(寄附金含む)	1,305,790円
必要経費	193,651円
差引純利益	1,112,139円

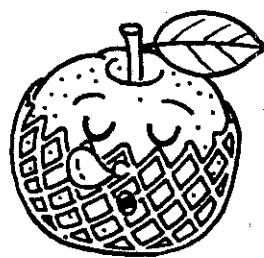
演劇「裸の放浪記」に招待される

去る10月3日(火)、こぶしの仲間の新田君のお母さんが勤務しているダスキンより、宇都宮市文化会館で行なわれた演劇「裸の放浪記」に招待され、けやきから3人、こぶしから8人の計11人が観劇しました。

当日は開演時刻が午後1時のため昼食を早くとり会場へと向かいました。会場に入ると大ホールはほぼ満員でしたが、私達の席が最前列に準備してありゆっくりと観劇できました。

(田島)

連日準備に御尽力下さった保護者の方々、遠路からはるばるかけつけて下さったボランティアの方々など、このバザは本当に多くの人々に支えられていたんだなあと思感しました。



品物を御提供下さった方々当日会場に足を運んで下さった方々、又要員として販売等に奮闘していただいた後援会保護者・ボランティア、総勢約90名の方々、本当にどうもありがとうございます。

(桜庭)



食器消毒保管庫授与される



去る10月25日(水)の午後、けやき作業所で食器消毒保管庫の授与式が行なわれました。

これは、本田技研栃木研究所労働組合の皆さんのお志によるもので、今取り組んでいるけやき作業所の通所授産施設への転換(現こぶし作業所の分場)、15名の仲間の定員増が行なわれた後も使える立派な食器消毒保管庫(33・5万円)が設置されました。

(成田)

本田技研労働組合の方々は、以前取り組まれた「家なき子」「ネバーエンディングストーリー」などのチャリティーロードショーや「はだしのゲン」の映画会等チケット販売に協力いただき大変お世話になっております。又、直井君の車イスを改造していただいたり、まつり等行事に仲間たちをご招待いただいたり福祉への活動も活発に行なわれております。今後も末永くおつきあいよろしくお願い致します。

トピックス

卒業生はみなビッグ



ある日のこと、宇大付属養護の校長先生と先生がやってきました。卒業生の懐かしい顔ぶれに先生が一人々々に声をかけてくれました。Sさんの所に来て「あらー見る度に太っていくわね。」と立派になった体をさわり話していました。「作業所で一番かな」と先生が言うので数人大きい仲間を頭に浮かべてみると「Kくん、K・Sくん、Sさん、こぶしのSくん、Yくん、Yくん。」「あらみんな宇大付属養護の卒業生。どうして?!先生も思わず笑ってしまいました。

(金田)

テレビの人気者ファン急増中?

こぶしで毎日納品に行っているUKK(宇都宮機器)のひとコマ。

仲間と二人で工場の中に入っていくベアリングをおろしているとき、一人のオバちゃんに近付いてきて「ネエ、ネエこの人この前テレビに出てた人でしょう!」とその仲間を見ながら話しかけてきました。その仲間とは「Yくん。そう克弘くんでした。

(荒井)

祭 民 町 賀 芳

11月11日(土)
12日(日)

9:00~15:00

芳賀町役場前
今年も出店します
是非おいで下さい
けやき作業所